



大津中央・営農課
桐原 竜治

麦の生育期間における管理作業には、「**麦踏み・土入れ・雑草対策**」などがあります。これらの管理作業を怠らず、麦の収量および品質の向上に努めましょう。

■麦踏み ○徒長生育を抑え、体幹を強くし、分けつを促進する。

1月～2月に3回以上実施しましょう。（本葉3、4枚期～節間伸長期前まで）麦が小さいうちの踏圧は軽めとし、麦が大きくなるとともに強くします。



12月が
暖かいときは
徒長に要注意

注意:早播き・暖冬の冬には徒長を抑えるために12月から実施する。過繁茂気味の場合は回数を増やす。
また、分けつ数が不足気味の場合は、分けつを促進するため回数を増やす。

■中耕・土入れ ○無効分けつを抑制して遅れ穂の発生を抑え、粒の品質を高める。

注意:1回目は少なめに、2回目は多めにします。
土入れによって排水溝が深くなり
湿害の防止にも役立ちます。

麦のはえ具合と対策



■雑草対策

○1月になると雑草(特にスズメノテッポウ)の発生が多くなるため、十分注意してください。

■雑草に対する効果(目安)、使用方法

雑草名 薬剤名		イネ科			広葉雑草				処理時期	処理量	
		スズメノテッポウ	スズメノカタビラ	ハコベ	ノミノフスマ	タケツケバナ	カラスノエンドウ	ヤエムグラ	イヌタデ	いつ? どれだけ? 	
土壌処理剤	クリアターン細粒剤F	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	◎	播種覆土直後	4kg / 10a
	クリアターン乳剤	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	◎	//	500cc～700ccを水70ℓ～100ℓに溶かす
	キックボクサー細粒剤F	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	○	//	3～4kg / 10a
	ボクサー（乳剤）	◎	◎	◎	△	◎	△	◎	○	播種覆土直後～麦2葉期迄	400cc～500ccを水70ℓ～100ℓに溶かす
	リベレーターフロアブル	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	播種覆土直後～麦3葉期迄	60ml～80mlを水100ℓに溶かす
	リベレーターG	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	播種覆土直後～麦2葉期迄	4～5kg / 10a
	ハーモニー細粒剤	◎	△	○	◎	○	△	×	○	スズメノテッポウが残ったとき	5kg / 10a
茎葉	ハーモニーDF	◎	△～ ×	◎	◎	◎	△	◎	◎	1月下旬～2月中旬	7.5～10g / 10a

(効果:○卓効～○有効～△劣る～×不効)

(乳水和剤の水量は100ℓ)

■除草剤の効果的な使用法と注意点

「土壌処理剤」

- 多くの雑草は栽培初期に多く発生し、栽培初期に発生した雑草ほど雑草害が強くなるので、土壌処理剤の使用は雑草防除の基本になります。
- 土塊が大きいと除草効果が低下するので、砕土を丁寧に行うようにします。
- 播種深度が浅い(2cm未満)と、出芽不良や生育抑制などの薬害が生じることがあります。
- 播種後できるだけ早く散布したほうが、除草効果は高くなります。

「茎葉処理剤」

- 除草剤の種類によって、効果が高い雑草とほとんど効果のない雑草があるので、雑草の種類を確認した上で、除草剤を選びます。
- 生育の進んだ雑草には効果が劣るので、それぞれの除草剤の使用適期に散布します。
- 雑草の葉や茎に薬液がかかると効果がないため、繁茂しすぎる前に散布します。